

イメージを共有し「雲」を共同制作 =美術科=

同じ時間、美術科でも3名の更農生が参加して「共同学習」が行われました。

MTの藤原先生から示された課題は、スタイロフォームとキルト綿を使って「雲」を制作するというものです。2グループに分かれ互いの自己紹介をした後、雲の形状や大きさなどを話し合いながら、作業に取り組みました。

本時の課題は中高養生にとっても初めて知らされたもので、はじめは互いに遠慮がちなコミュニケーションでしたが、徐々にグループのメンバーのアイデアとイメージの共有が進み、作業が加速していきました。

2つの作品は形状も制作過程も全く異なり、一方は「入道雲」のような荒々しさ、もう一方は「わた雲」のような穏やかさが感じられるなど対照的な作品が完成しました。



「雲」の芯となる部分を作成



綿を貼り付けイメージを形に



完成した作品

○ 授業アンケート

学校名	生徒	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	合計	【授業アンケートについて】 このアンケートは北海道教育大学附属釧路義務教育学校が開発した「Q-分類簡便法」で、同校では、合計値から授業の効果の次に解釈しているようです。(出典 2010 同中学校 研究紀要) (判断基準) ~20 ほとんど効果がない 20~40 やや効果がある 40~70 効果がある 70~90 かなり効果がある 90~ きわめて効果がある
		あまりよく分からなかった	よく考えることができた	ますます勉強がいやになった	新しいことがわかってうれしかった	かんたんすぎて、はり合いがなかった	もつとこの授業がつづけばよかった	これという感じはのこっていない	とても楽しかった	家で勉強した方がよくわかった	つらかったが、ためになった	とても時間が長く感じられた	思うように考えたり活動したりすることができなかった	おさえつけられるような気持ちだった	勉強のしがいがあるように思われた	だらけた気持ちですこした		
中高養	1																80	個性が出る作品(お題)とても楽しかったです。とても楽しかったです。違う生徒とかかわれたのでよかったと思います。楽しかったです。楽しかったです、またあいたい。
	2	○	○	○	○	○	○	○									0	
	3		○														40	
	4		○		○	○	○	○	○							○	100	
	5		○		○	○	○	○	○				○				60	
	6	○			○	○	○	○	○			○					60	
	7			○	○	○	○	○	○				○				20	
	8	○		○					○				○	○			-20	
更農	9		○		○	○	○	○							○		100	みんなフレンドリーで話しやすく、みんなで考えることができてとてもよかったです。自分の高校でやるようなことじゃなかったのでとてもたのしかったです。学校では体験できない内容だったので、とても楽しかった。初めて話した人と仲良くなれて良かった!美術は高校ではない科目なので、中高養の皆さんと工夫して制作することができ楽しかったです。また、このような機会があればたくさんコミュニケーションをとりたと思います。
	10		○		○	○	○	○							○		100	
	11		○		○	○	○	○							○		100	

○ 文部科学省 web ページに「モデル事業」の成果掲載

2月20日(金)に行われた「令和7年度インクルーシブな学校運営モデル事業中間成果報告会」の文科省説明資料、各モデル地区発表資料、パネリスト話題提供資料が公開されています。⇒ https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/shinkou/shinko/1421853_00014.htm

B地区の取組 ⇒ https://www.nakasatsunaikoutouyogo.hokkaido-c.ed.jp/page_20250414234410